

## 『人権文化のはな』開いたまちづくりをめざして

21世紀は、『人権の世紀』といわれており、お互いの人権が尊重される社会の実現を目指して、国や県、五條市においてもさまざまな取り組みが進められています。

2001年には『五條市行動計画』を策定し、「差別撤廃」や「人権のまちづくり」を一層進めていくために人権教育や人権啓発に取り組んできました。

しかし、現実の社会においては、同和問題だけでなく、虐待やいじめ、女性への暴力、障がい者や高齢者、在日外国人等に対する偏見や差別がいまなお存在しています。また高度情報社会となった今、インターネットに差別書き込みがされるなど、人権が完全に守られているとは言えません。

『人権』とは、だれもが生まれながらに持っている幸せに暮らす自由・平等の権利で、日本国憲法でも定められています。

また、奈良県では、毎月11日を『人権を確かめあう日』とし、人権が守られ幸せに生活できているかを確かめることができるよう啓発活動の一環として推進されています。

このだれもが持っている権利を守っていくためにも、人権教育・人権啓発の取り組みは欠くことはできません。

そういった意味から、2006年にはこれまで五條市が取り組んできた人権の諸施策について、その成果や課題を更に明らかにし、今後より一層市民の皆さんに人権を守ることを、守られることの大切さや差別のない住みよい社会の構築を目指して『人権に関する市民意識調査』を行いました。

この調査で、皆さんからいただいた貴重なご意見や考えをもとに『人権施策に関する基本計画』を策定し、あらゆる人権問題の課題解決に向け積極的に取り組み、優しさとぬくもりのある五條市、あらゆる差別のない人権文化の『はな』開いたまちづくりを皆さんとともに作り上げていきたいと考えています。

## 五條

7 NO.701  
平成19年7月  
JULY 2007

差別をなくす強調月間 特集号

差別をなくす強調月間

7月1日～31日

「育てよう一人ひとりの人権意識」

思いやりの心・かけがえのない命を大切に

## 第36回 差別をなくす市民集会



ゴーちゃん  
(五條市シンボルキャラクター)

- 日 時 7月14日(土)  
(受付)午後1時  
(開会)午後1時30分
- 場 所 五條市市民会館 大ホール
- テーマ 「心のバリアをはずして」

- 講 師  
NHK手話ニュースキャスター  
なかの さよこ  
中野 佐世子さん

